

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2016-166749(P2016-166749A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-45574(P2015-45574)

【国際特許分類】

G 01 C 19/5614 (2012.01)

H 01 L 41/09 (2006.01)

H 01 L 41/113 (2006.01)

H 01 L 41/04 (2006.01)

【F I】

G 01 C 19/56 1 1 4

H 01 L 41/09

H 01 L 41/113

H 01 L 41/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月14日(2018.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印加された物理量に応じて物理量信号を出力する物理量検出素子と、

前記物理量信号を処理する物理量検出回路と、を備え、

前記物理量検出回路が、

第1增幅回路と、

前記第1增幅回路からの信号が供給される同期検波回路と、

前記同期検波回路からの信号が供給される第2增幅回路と、を備え、

前記第2增幅回路のダイナミックレンジが、前記第1增幅回路のダイナミックレンジよりも大きいことを特徴とする物理量センサー。

【請求項2】

印加された物理量に応じて物理量信号を出力する物理量検出素子と、

前記物理量信号を処理する物理量検出回路と、を備え、

前記物理量検出回路が、

第1增幅回路と、

前記第1增幅回路からの信号が供給される同期検波回路と、

前記同期検波回路からの信号が供給される第2增幅回路と、を備え、

前記第1增幅回路の飽和電圧V1と、前記第1增幅回路の増幅率A1と、の比V1/A1と、

前記第2增幅回路の飽和電圧V2と、前記第2增幅回路の増幅率A2と、の比V2/A2とが、

$V2/A2 > V1/A1$

の関係を満たすことを特徴とする物理量センサー。

【請求項3】

前記物理量が角速度であり、

前記第1增幅回路のダイナミックレンジが300°/s以上であることを特徴とする請求項1または2に記載の物理量センサー。

【請求項4】

前記第1增幅回路の前記ダイナミックレンジが3000°/s以上であることを特徴とする請求項3に記載の物理量センサー。

【請求項5】

前記第1增幅回路が交流増幅回路であり、

前記第2增幅回路が直流増幅回路であることを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の物理量センサー。

【請求項6】

前記同期検波回路からの信号が供給され、前記第2增幅回路へ信号を出力する第1ローパスフィルターと、

前記第2增幅回路からの信号が供給される第2ローパスフィルターと、をさらに備えることを特徴とする請求項1～5のいずれか一項に記載の物理量センサー。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載の物理量センサーを備えていることを特徴とする電子機器。

【請求項8】

請求項1～6のいずれか一項に記載の物理量センサーを備えていることを特徴とする移動体。